

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員（動物飼育員）インタビューをお届けします！

.....
今回は、建設局八木山動物公園飼育展示課の伊藤 淳さん（動物飼育員入庁8年目）にお話を伺いました。

職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

1. 動物飼育員になろうと思ったきっかけについて教えてください。

幼い頃から生き物を飼育することが好きで、将来は漠然と動物に携わる仕事がしたいと思っていました。動物飼育員を志望する大きなきっかけとなったのが大学生の頃に行った八木山動物公園での飼育実習です。実際に飼育員のさまざまな仕事を間近で見て、体験し、職場環境の良さを肌で感じて、ここで働きたいと強く思うようになりました。

2. 現在携わっている事業（業務）の内容と、あなたが担っている役割を教えてください。

サイやカバ、30種を超える鳥類を、私を含めた班員6名で担当しています。獣舎の清掃や調餌、イヌワシなどの繁殖に向けた取り組み、来園者への動物の解説やイベント実施、掲示物の作成などを行っています。

3. 職場の職員構成（人数・職種の割合・年代等）について教えてください。

令和5年度現在、八木山動物公園には園長をはじめ管理課（管理係・施設係）と飼育展示課（飼育展示係・普及調整係・衛生係）を合わせて計60名の職員がいます。男女比はおおよそ1:1です。動物飼育員として採用された職員は計22名（男6女16）で、そのほとんどが20代から30代です。

4. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

- 8:30～8:45 全体朝礼、担当現場に移動、班ミーティング
- 8:45～12:00 サイ・カバの放飼、獣舎・鳥舎の清掃、鳥類に給餌
- 12:00～13:00 昼休憩
- 13:00～15:30 サイの削蹄・採血トレーニング、収容準備、鳥類に調餌・給餌
- 15:30～16:45 サイ・カバの収容、運動場清掃、鳥類に給餌、閉園作業
- 16:45～17:15 管理事務所へ移動、飼育日誌の記入、事務作業など

5. 仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか。

動物の誕生や治療、搬出入などの大きな課題をチームで協力し成し遂げた時が、大きな達成感や、やりがいを感じる瞬間だと思います。また、イベントなどで来園者に動物の魅力や習性などをお話したり実際に見てもらったりすることがあるのですが、そこで来園者が喜んでる姿を見れたり、共感を得ることができた時にやりがいを感じます。

6. 職場デビューしてから1～2週間の職場での様子を教えてください。

大きく6つの班で分担して園内の動物の飼育業務をしており、まず動物園の組織や施設の案内、動物についての説明を受けた後、私はアジア班の一員としてデビューしました。最初はラクダやラマ、カンガルーの放飼・収容や清掃などの飼育業務を一からベテランの班長に教わり、一緒に作業しながら覚えていきました。独り立ちに向けて、ルーティン業務を覚えるまで、分からないところがあれば、細かな所もその都度聞くようにし、時計やメモ帳と何度もにらめっこしながら作業していたことは思い出深いです。

7. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

私が動物飼育員として入庁した当時は、年配のベテラン飼育員の方が多かったのですが、世代や性別に関係なく、和気あいあいとしている雰囲気印象的でした。

8. 学生時代に学んだことが、今の仕事に役立っていると感じることはありますか。

大学で学んだ畜産系の知識や家畜の飼育管理技術、パワーポイントやエクセルなどの基本的なパソコン操作は現在も役に立っています。また、来園者の中には外国の方も多いため、私はカタコトですが、英語をはじめとする語学力は今後より一層役立つ場面が出てくると感じています。

9. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。

ある程度時間に余裕があったため、ジムに通って体力づくりをしていました。また、県外へ旅行し、いくつかの動物園を見に行ったりもしていました。

10. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます。これから少しずつ施設のリニューアルがはじまる八木山動物公園で、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。大変なこともあるかと思いますが、やりがいはそれ以上に溢れていると思います。一緒に仙台市を盛り上げていきましょう。

.....
※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。